

## 動物用医薬品

外傷、皮膚潰瘍治療剤

動物用 **イサロパン**<sup>®</sup>  
ISALOPAN<sup>®</sup>

承認指令書番号	24 動薬第 2144 号
販売開始年月	1991 年 7 月
再審査結果	2000 年 12 月

貯法	室温保存
----	------

### 【本質の説明又は製造方法】

本剤は、患部に直接散布することにより、損傷皮膚組織の修復作用と分泌物の吸着による患部の乾燥化作用により、治癒を促進する外用散剤です。皮膚損傷部に対する刺激が少なく、創面への付着性に優れ、除去も容易な散剤です。

### 【成分及び分量】

品名	動物用イサロパン
有効成分	アルクロキサ
分量	1g 中 60 mg

### 【効能又は効果】

犬、猫の外傷、自潰瘍、手術創、皮膚炎に基づく皮膚のびらん・潰瘍

### 【用法及び用量】

1日1～3回患部に適量を散布する。

### 【使用上の注意】

#### （基本的事項）

#### 1. 守らなければならないこと

##### （一般的注意）

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
- ・外用の抗菌薬を投与している場合は、本剤の使用の是非について獣医師に相談すること。

##### （犬及び猫に関する注意）

- ・本剤はマーキュロクロム液と併用しないこと。不溶性塩を生じて作用が低下するおそれがある。

##### （取扱い及び廃棄のための注意）

- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤は使用後、ふたをよく締め、高温及び多湿を避けて保管すること。

#### 2. 使用に際して気を付けること

##### （使用者に対する注意）

- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

##### （犬及び猫に関する注意）

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・本剤を犬に大量経口投与した試験で軟便、下痢、体重減少等の症状を認めたことがあるので、そのような症状が出た場合は使用を中止すること。
- ・本剤に含まれるトウモロコシデンプンにヨウ素が付着すると紫の着色を生じるので、ポビドンヨードなどの消毒剤を用いる場合には注意すること。
- ・患部が化膿している場合には、あらかじめ適切な処置を行った後使用すること。

- ・本剤は粉末であるので、投与に当たっては治療中患部の観察を十分行うこと。
- ・本剤を散布後、患部を舐めないように必要に応じ保護すること。
- ・汚染を防ぐために、散布の際、容器の先端が患部に触れないように注意すること。
- ・本剤は外用にのみ使用し、経口投与しないこと。

### （専門的事項）

#### 相互作用

- ・in vitro で本剤とテトラサイクリン系外用剤との併用によりテトラサイクリン系薬剤の抗菌力の低下が認められているので、併用する場合は注意すること。

### 【薬理学的情報等】

#### （薬効薬理）

本剤の作用機序は、アルクロキサ中のアラントインの線維芽細胞増殖・結合織代謝・血管新生促進作用による肉芽形成促進と表皮再生促進による損傷組織修復促進及び基剤の滲出液吸着作用にあると考えられる。

1. ラット背部皮膚の創傷面に対し、本剤を1日2回投与した結果、投与群は無投与群に比べ、治癒日数の短縮が認められた。
2. ラットの第三転子部に発現させた褥瘡に対し、本剤を1日2回投与した結果、以下の作用が認められた。
  - ・血管新生促進作用
  - ・創面の乾燥化促進作用
  - ・肉芽形成促進作用
  - ・表皮再生促進作用
  - ・創面縮小作用

#### 【包装】

動物用イサロパン：25g × 6本（ポリエチレン容器）

#### 【製品情報お問い合わせ先】

あすかアニマルヘルス株式会社  
〒108-0023 東京都港区芝浦二丁目15番6号  
TEL：03-5439-4188



製造販売元

**あすかアニマルヘルス株式会社**

東京都港区芝浦二丁目15番6号  
TEL. 03-5439-4188 FAX. 03-5439-4191

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。